

# 私たちは、みどりのちからを活かして、 持続可能な社会の実現を目指します。

人はみどりからたくさんの恩恵を授かっています。

この自然の摂理を大切にしながら、私たちは、みどりと共に夢を見られる持続可能な社会をつくりたいと考えています。日比谷アメニスグループはどんな会社なのか。どんな社会貢献をしているのか。

そのことを、一人でも多くの方に知っていただきたくて、分かりやすくて親しみやすい、

思わず手に取りたくなるレポートづくりを目指しました。

私たちと関わる一人でも多くの方に、読んでいただければうれしいです。

レポートタイトル「キニナル」の由来

- 「樹になる」みどりを増やす
- 「機になる」地域の皆さまをつなげる
- 「起になる」新しい事を始める
- 「旗になる」私たちの考えを示す

そんな「気になる」取り組みをご紹介します  
という意味を含め「キニナル」の  
タイトルをつけました。



## トップメッセージ

木々々々



時代の変化に応じながらみどりの価値を活用し、  
SDGsの目標達成に貢献する。

弊社が環境宣言を策定してから2年余りが経過しました。まだ短い期間ですが、この間にも、みどりに対する期待の高まりや、ニーズの変化を感じています。健康で快適な生活基盤の形成、生物多様性の保全、地域活性やコミュニティの強化、グリーンインフラとしての役割など、みどりには様々な価値があります。時代の変化を捉えつつ、その変化に応じてみどりの価値を活用することで、SDGsの目標達成に貢献していきます。

みどりの価値の理解を広め、幅広く活用されることを推進する。

みどりの持つ価値は、受け取る人により多様に捉えられ変化します。この価値の多様性に対する理解を深め、社会に広めていくことも、価値の活用を促すためには重要です。SDGsへの貢献度や経済的な効果、そしていかに私たちの暮らしを豊かにするかといったことを、客観的なデータ等を基に評価し、その結果を分かりやすいかたちで社会に発信する。このような活動にも力を入れ、みどりの価値が幅広く活用されることを推進します。

パートナーの皆様との協力関係を強化し、持続可能な社会の実現を目指す。

私たちの取り組みをさらに充実させるためには、パートナーの皆様と力を合わせていくことも必要です。同業種・異業種に関わらず、様々な企業の皆様との連携によりノウハウを共有することで、お互いの活動を発展させることが期待できます。大学をはじめとした教育・研究機関との連携ができれば、私たちの持つ技術と、高度で先進的な知的資源とを組み合わせることができ、新たな可能性が広がります。このような協力関係も強化しながら、持続可能な社会の実現を目指していきます。

株式会社日比谷アメニス 代表取締役 伊藤 幸男

